

第5次名張市地域福祉（活動）計画（素案）パブリックコメント意見募集結果及び計画（案）について

1. パブリックコメント意見募集結果

募集期間	令和7年3月24日～同年4月23日		
件数	7件（6人）		
意見の取扱い 対応	修正	素案を修正するもの	1件
	既記載	既に素案に盛り込んでいるもの	2件
	参考等	素案に盛り込めないが、今後の参考とするもの又は意見として伺ったもの	4件
	その他	パブリックコメントの趣旨と異なるものなどその他のもの	0件

No.	ページ	項目	意見	対応	市の考え
1	全体	計画書について	文字数・枚数が多くて読みにくい。福祉を提供する側の事業者もだが、福祉を必要としている当事者が読めなければ、市が何をしようとしているか伝わらない。 文字ばかりで、内容が入りにくい。老若男女どの世代も読みやすいように、文章自体を短くしたり、文章についての説明のイラストを加えたりするなど、もっと工夫していただきたい。	参考等	本計画は地域福祉の共通理念を示す計画であり、連携する個別計画との重複した記載を避けた。そのため第4次計画と比較すると半分以下のページ数とし、適宜、グラフやイラストなども活用し、読みやすい計画となるよう努めました。しかし、ご意見いただいたように文章による説明が多いことから、リーフレット等の作成も検討してまいります。また、今後、進捗状況等を公表する際には、写真等も活用するなどより一層の工夫をいたします。

2	17 (9)	施策目標等について	具体策が明確でなく、「誰が、いつまでに、どうやってやるか」を詳しく書いていない。計画の成果指標があいまい。どうなれば成功なのか、わからない。	既記載	行政計画においては、成果指標などを設定し、施策の展開を図ることが求められており、これまでの地域福祉計画においては、評価指標として、総合計画における目標値を活用してきました。しかし、地域福祉推進の効果測定を数値で求める難しさがあり、第5次計画では直接的には総合計画の目標値を成果指標とせず、福祉関係者を構成員とする名張市地域福祉推進協議会で進捗管理を行うこととします。 具体的には、総合計画に係る目標達成状況や市民意識調査の結果を注視しながら、第5次計画では、計画期間の各年度において、同協議会により1年間の取組設定とその振り返りを毎年度繰り返すことで、計画の推進力を高めることとしております。
3	22 (14)	施策目標等について	国の地域福祉計画策定ガイドラインの「①地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉その他の福祉に関し、共通して取り組むべき事項」が不足している。 第4次計画には盛り込まれた「重点目標3 生活困窮者の自立に向けた支援体制の整備」、及び「重点目標4 安心して子どもを産み育てられる、子	既記載	地域福祉計画は、福祉における理念計画という位置付けでもあることから、第5次計画では、他計画に掲載のある内容については、それらと調和を図りつつも、なるべく本計画において再掲せず、分野別の計画や事業と共に地域福祉の推進体制を図ることとしました。 なお、ご指摘いただきました「生活困窮者の自立に向けた支援体制の整備」については、P23の「②誰もが生きがいや役割を持てる社会参加の支援、社会福祉協議会が果たす主な役割、就労（社会参加）を通した生きがいづくりの推進」に掲載しております。

			ども・子育て支援」を、継続して推進体系に位置付けるべき。		
4	25 (17)	施策目標等について	相談窓口が掲載されているが、自殺が頭にちらつくような状態で相談する人は少ないだろう。 パワハラ、セクハラなどの企業内での問題が解決されない時の相談窓口がないということが問題であり、必要ではないか。	参考等	複合的、複雑な課題に思い悩む方が相談窓口にとどりがくことができるよう、包括的な支援体制の構築及び維持こそが重要と考えております。 パワハラ等の企業内問題については、保健・医療、福祉、教育、労働施策と連携し、具体の取組を進めていく中で、検討させていただきます。
5	34 (26)	表記	「なんとか なるなる なばりです」この表現が受け身すぎて好ましくないのではと思う。市民全体が「何とかしよう！」という、能動的な姿勢が求められるのではと思う。	修正	「シティプロモーション」の取組では、「悩みや不安なことも支え合いでなんとかなる。人のつながりやあたたかさ、そして、市民から生まれるさまざまな活動がまちの自慢。チャレンジをしたい人や元気になりたい人を、名張の市民が『なんとかなるなる』の精神で受け入れることで、まちに愛着を持ち、まちに関わる『活動人口』を増やしていこう」と様々な施策を進めています。「なんとかなるなる」のロゴは、まちづくりに関わる市民や学生などで構成するワークショップにより、名張ならではの魅力を表し、自分たちのまちの姿を共有できるようにしようと、作成に取り組みました。「なんとか なるなる」という言葉は、誰かがなんとかしてくれると捉える方もおられるかもしれませんが、作成過程や文字に込められた思いは、まさに

					地域共生社会の在り方を表現したものとなっています。 シティプロモーションと地域共生社会の実現についての市長と地域福祉推進協議会会長の対談記事を掲載することにより、その意図を補完いたします。
6	全体	その他	老人が増えているので仕方がないかもしれないが、若者・子育て世代のアプローチが弱いと思う。将来の担い手層なのに勿体無い。	参考等	個別計画における具体的な施策展開の中で、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
7	全体	その他	介護職員の離職理由は給料の低さ。市として、介護事業所の売り上げが上がるよう、そして従業者の確保に努めていただきたい。	参考等	個別計画における具体的な施策展開の中で、いただいたご意見を参考とさせていただきます。

ページ欄の（ ）内の数字は、素案のページ数を示す。